

経営情報学会第15回学生研究論文発表会の開催報告

関西支部運営委員 横田明紀（よこた あきのり）
立命館大学経営学部

1. 概要

毎年恒例となりました学生論文発表会を関西支部の運営により2020年2月22日（土）に立命館大学大阪いばらきキャンパスにおいて開催いたしました。この発表会は経営情報関連の研究を行っている学部、修士・博士前期課程、ならびに博士・博士後期課程を卒業または修了予定の学生に卒業論文、修士論文、博士論文での研究成果を発表する機会を与え、質疑応答を通じてよりよい研究へと発展させるための一助とし、さらに、経営情報関連分野の研究・教育の進展に資することを目的に、2005年度より年度末に開催しております。

2. 発表会について

今回は卒業論文3件、修士論文3件の推薦を受けましたが、1件が取り下げとなった為、計5件の報告が行われました。それぞれの発表者とタイトルは、以下の通りでした。

発表者の氏名とタイトル

卒業論文の部（3件）

野口将太（大阪府立大学現代システム科学域） 自治体クラウド導入による経費削減効果に関する分析
藪内天貴（金沢工業大学情報フロンティア学部） 日本プロ野球における改良型D'Esopo-Lefkowitzモデル による最適打順の探索
島岡早希（近畿大学経営学部） 相対順位を用いたフィードバックの検証

修士論文の部（2件）

近藤弘記（大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科） 時系列情報を用いた企業の倒産予測モデルの構築
田 賛晃（大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科） 中国のネットショップが提供しているサービスの有用性に関する分析

1人あたりの報告時間を卒業論文は発表10分・質疑5分、修士論文は発表15分・質疑10分と定め、研究内容についてのプレゼンテーションと活発な質疑応答が行われました（写真1,2）。また、各発表者からは事前にそれぞれの論文での研究内容をまとめた予稿を4ページで作成していただき、それらをまとめた予稿集の発行も行いました。



写真1 発表の様子



写真2 質疑の様子

3. 表彰式について

発表をいただいたすべての学生に対し論文賞が授与されました（写真3）。また、関西支部運営委員のメンバーで構成する審査委員会によって、各発表者



写真3 表彰式

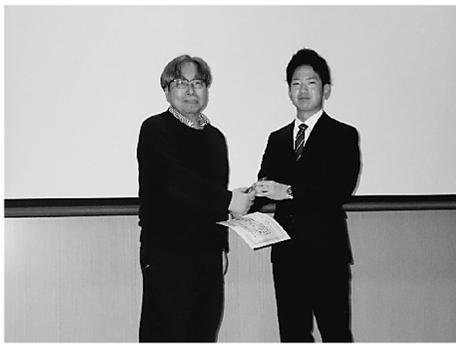


写真4 最優秀賞の授与



写真5 優秀賞の授与

の予稿、発表および質疑の内容を審査し、最優秀賞と優秀賞を贈呈しました。厳正なる審査の結果、最優秀賞には大阪府立大学現代システム科学域の野口将太さん（写真4）、優秀賞には金沢工業大学情報フロンティア学部の藪内天貴さん（写真5）が決定しました。

4. おわりに

最後に福井誠関西支部長より発表会のまとめとなる講評が行われ、発表者全員に対し

- ・学生研究論文発表会の回を重ねる毎に研究の水準は上がってきている
- ・自分のモチベーションや関心、問題意識に基づいた研究意識を持って欲しい

といった点とともに、特に大学院生については求める水準も上がっており、自分の研究の意義を適確に応えられるよう未熟だった点については今後も継続して考えて欲しいと伝えられました。今回の発表会には学生、教員、企業などから合計21名の参加がありました（写真6）。



写真6 受賞者を囲んでの記念写真

次年度も引き続き学生研究論文発表会を開催予定です。本発表会は経営情報学会の研究活動の一環として実施しており、関西支部以外からの発表や視聴も可能です。次年度は全国より多数の発表および参加のお申し込みがあることを期待しております。

訂正とお詫び

2019年度のフォーラム誌Vol.28, No.1に掲載された支部活動紹介「関西支部第14回学生研究論文発表会の開催報告」（pp.53-54）において、最優秀賞の受賞者氏名に誤りがございました。正しくは立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科の高木祥吾さんです。誠に申し訳ございませんでした。ここに深くお詫びし、訂正させていただきます。